

# ネイチャー・ウォーク

平成 25 年 7 月号  
2013. 7. 21 発行  
(通巻第 234 号)

ECO  SAITAMA 公益財団法人 埼玉県生態系保護協会

部会：自然を歩く会

■先月のネイチャーウォーク

## さ 採食兼備 彩の国からちょっと都内へ

(才色兼備)

水元公園付近散策

(つくばエクスプレス八潮駅～京成金町線柴又駅)

6月のネイチャーウォークは、八潮駅から花菖蒲の咲く水元公園を散策し、柴又帝釈天を目指して歩くコースです。

今回、読売新聞の夕刊にイベント告知が掲載され、予想を上回る74名の方にご参加いただきました。

(あまりの人数の多さにリーダーの稲垣さんの姿が見えませぬ→)



このあたりに稲垣さんがいます。

←八潮駅を出発し、長蛇の列をつくりながら住宅街を抜けていきます。



歩いているとあっという間に都県境に。「えっ、もう都内なの？」という声がちらほら。二つ先の信号の向こうは葛飾区です。→



閘門橋（こうもんばし）を渡ると、水元公園はもう目の前です。

←閘門橋：明治時代に造られ、レンガ造りのアーチ橋としては、東京都に現存する唯一の橋です。

水元公園は、小合溜に沿って造られた都内で唯一、水郷の景観をもった公園です。

みんなでバードサンクチュアリを見たり、水辺で釣りを楽しむ人たちに声をかけたりしながら園内を回ります。

正面に見えるのは、メタセコイヤの森。都立公園では、最大規模の森だそうです。→



←公園の中には、暑さを和らげてくれる木陰がいっぱい。

ここが都内であることを忘れてしまいそう、と皆さん緑の多さを実感しながら歩いていました。

公園では、今回の見どころのひとつの花菖蒲以外にも、又マトラノオやコウホネなどさまざまな植物を見ることができました。

この日はちょうど花菖蒲まつりが開催されていたため、ハナショウブ園は多くの来園者で賑わっていました。



参加者の皆さん全員を無事に昼食場所まで案内でき、スタッフは一安心。

見事に咲き競う花菖蒲が見ながら、昼食を食べました。水元公園では、毎年この時期に 14,000 株、約 100 品種 20 万本の花菖蒲が咲いているそうです。→



昼食後は、恒例の「多く出現認定式」！今回は、2 名の方に「多く（walk）出現認定証」をお渡ししました。

※初参加の方も多く、今回、全員にスタンプカードをお渡しすることができませんでした。カードを持っていない方は、次回参加の際、スタッフにお知らせください。



↑右・左：認定式の様子

午後は、江戸川の堤防を歩きながら、ゴールの帝釈天に向かってまっしぐら！一日の中で一番暑い時間帯でしたが、額の汗をぬぐいながらみんなで頑張って歩みを進めました。



「私、生まれも育ちも葛飾柴又 帝釈天の産湯を使い…」

の寅さんのセリフで有名な柴又帝釈天に無事に到着！寅さんの気分にならされたところで、今回のネイチャーウォークは終了です。

皆さん、暑い中お疲れ様でした。